

私は9月10日から17日まで、韓国にある祥明大學校への短期研修に参加させていただきました。研修では日本語を学んでいる学生といろいろな場所へ行ったり、活動をする事が出来ただけでなく、ホームステイを通してたくさん交流する事ができました。今回の研修を通して感じたことや印象的だった事を、今回は報告しようと思います。

まず印象的だった事から述べていきたいと思います。今回のプログラムの中で、私たちは昌徳宮・昌慶宮を訪れました。入場する前に、今回参加した日本側の学生みんなで自分達の気に入った韓服を選び、韓服体験を行いました。日本の伝統服である着物は、着付けに時間がかかる上に、帯などによる締め付け感が気になる事があります。しかし韓服（女性用）はワンピースのようなスカートの上から上着を着る形なので、2～3分で着る事が出来ました。韓服を着ながら韓国の王宮を楽しめたのは、すごくいい思い出になったように感じます。



伝統的な韓服を体験をした後は、それぞれのホストファミリーと明洞方面へと向かいました。明洞にはたくさんのお店が集まっており、とても賑やかな場所でした。そこで私が見つけたのは、伝統的な韓服を普段でも着やすいようにアレンジした、生活韓服（改良韓服）というものでした。値段は伝統的なものを買うよりもずっと安く、普通の洋服を買う値段と同じくらいのもので多い印象でした。スカートの丈は普段でも履けるような膝丈のものや、伝統的な柄を取り入れたものがあり、チマチョゴリのように上下別々にせず、襟元や巻きスカートといった特徴を残したワンピース型の改良韓服も売ってありました。この改良韓服について聞いてみると、「私も持っているよ」と答えてくれた韓国の学生もいました。日本でも伝統服を着る機会というのはとても少なくなっていると思いますが、韓国ではこのように若者が普段取り入れやすい形で伝統が残されていて、素晴らしい

と思いました。

私は今回の一週間の研修の中で、コミュニケーションを通して意思疎通を図ろうと努力をする姿勢が特に大切だと感じました。韓国語は大学に入学してから一年半ほどしか勉強していなかったので、最初はきちんと伝わるか不安に感じていた部分もありました。しかし文法を間違えてしまったり、知っている知識や単語のみの言葉になってしまっても頑張って話そうとしていると、それを理解してもらえたり、もっと自然な表現を教えてもらう事が出来ました。このようにして生きた言葉で学んだ韓国語は、どんな勉強法よりもとても質のいい学び方が出来たと感じています。また、ホームステイ先の学生も日本語に自信がないときには、私と同じように単語を一生懸命に伝えようとしてくれたり、翻訳のアプリを使って、それを自分で読みながら伝えようとしてくれました。このように努力してくれる様子を見て、とても嬉しくなりましたし、同時にもっと相手を理解をしてあげたいという気持ちになる事が出来ました。今回は伝える側だけではなく、言葉を受け取る側にもなり、今後日本語や他の言語でコミュニケーションをはかる上で、とても大切な姿勢を学ぶ事が出来ました。

今回の研修では、韓国の言葉や文化について学ぶ事が出来ただけではなく、コミュニケーションをはかっていく上で大切なことを経験として身につける事が出来たと思います。この経験を生かして、今後も積極的にコミュニケーションを取り、視野を広く持てるようになりたいと感じました。